

# 西久保八幡通儀

## 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

当八幡神社につきましては日頃より種々ご高配に預かり誠にありがとうございます。

さて、当社は寛弘年中（西暦一〇〇四）  
一二に源頼信が現在の霞ヶ関のあたりに創建したといわれており、その後太田道灌により現在地に遷されました。爾来、徳川秀忠の正室、崇源院が関ヶ原の戦いの戦勝を祈願し、その報賽として社殿を造営するなど徳川家からの崇敬も厚く、また「八八幡詣」と称して広く江戸の庶民からも参詣を受けておりました。現在におきましても御霊のご安泰は氏子崇敬者の皆様のおかげと感謝申し上げる次第です。

御鎮座以来一千年を数えるに当たり、明年（平成二十三年）の例大祭は奉祝の大祭として斎行し、御神威の更なる発揚を期するとともに、氏子崇敬者の皆様の益々のご発展をご祈念申し上げます。多くの皆様のご参拝をお待ちしております。

末筆ながら、皆様のご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 伊勢神宮式年遷宮 宇治橋渡始式

伊勢神宮式年遷宮は千三百年の永きに亘り受け継がれてきた我が国の伝統文化です。二十年に一度、全ての社殿を建て替えるとともに、御装束・御神宝を新調することで、その技術は伝承され、またそこに携わった人々の心も伝承されるのです。そして天照坐皇大御神を始めそれぞれの御霊は新しい社殿にお遷りになることにより若返り（常若）、新たな光を



放つことになるのです。

第六十二回伊勢神宮式年遷宮の準備

は平成十六年に天皇陛下の御聴許をいただき始められました。式年遷宮のお祭りは平成十七年の山口祭・木本祭を皮切りにすでに始まっており、平成二十五年の遷御・奉幣・御神楽に至るまでに実に三十もの祭典、行事が行われます。

その中の一つである宇治橋渡始式が平成二十一年十一月三日に執り行われました。皇大神宮（内宮）の入口、五十鈴川に架かっているのが宇治橋です。

まず、宇治橋の守り神、饗土橋姫神社に橋の安全を祈願し、万度幣を入口側から向かって左手二本目の擬宝珠の中に納め、正式に宇治橋が完成しました。

その後、緋（赤）の袴に白い被衣をかざした渡女を先頭に渡り初めを行います。渡女は旧神領民の中から選ばれますが、三世代にわたって夫婦ともに元気で



あることが条件で年長の夫人が務めます。今回は伊勢市植山町の田畑まきさん（八十二歳）が選ばれ先頭を、そして神職、全国から集まった三世代の夫婦ら約千人の列が渡り初めをしました。渡女を務めた田畑まきさんは、この日のために十五分間続けて歩く練習をしてきたといい「精いっぱい歩きました。周りの人も手をたいて応援してくれて、ありがたかったです。」と大役を果たした感慨に浸っていたそうです。

このように古式の随に厳肅かつ盛大に行われた渡始式を思い起こして、皆様も是非、伊勢神宮を御参拝下さい。



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

## 『日本の心』

八幡神社責任役員 曲谷健一

■現在、都内ではコンビニが三〇〇〇軒間隔でオープンしている。

ちよつとした日用品ならばなんでもすぐに間に合う、文字通り「便利なショッピング」である。

客がほしい物を手にとつて差し出し、レジを通してつり銭とレシートを受け取る。一言も会話が無い。季節の挨拶も無ければ、どこの誰が買いに来たのかも全くわからない。次から次へ品物・お金・レシートが繰り返されている。時間が来ればレジの担当が代わるがそこには人間的な潤いが全く見られない。

昔は全く違っていた。何かを買いに行く時、その店の奥さんやご主人と会話をすることが楽しみだったものである。買入物はそこで「町内の〇〇さんの嫁入り先が決まった」とか「〇〇さんの息子が大学に合格した」とか「〇〇さんが転んで怪我をした」とか、嬉しいこと・悲しいことなどを会話の中で情報交換することで、町のコミュニケーションが謀られてきた。もちろん、どこの誰が何を買いにきたのかお互いすべて分かっている。人情味あふれる町。それが江戸時代から明治・大正・昭和…と続いていたのです。

しかし近代、愛情や人情の全く無い利益追求だけが要求されている。それでいいのでしょうか。これが町をつぶしているのです。コンビニエンスストアに限らず我が国の企業には「日本の心」を大切にしたい人情味あふれる経営を期待したいものです。

■近頃、平気で親が子を殺したり、捨てたりしている。こんなことを動物がやりますか。どんな動物でも母親は一生懸命子を育てようとしている。それを産みっぱなしで捨てる人がいるのでは動物以下です。

現代は結婚したら両親と別れてすむのが近代的だと思い、核家族が中心になっている。少子社会では、家族が本当に小さな単位になってきているのです。これはやがて国を滅ぼす原因になるのではと心配です。核家族はアメリカではピツタリでしょうが、それを真似して家族と一緒に住まないことが現代的と考えているのは日本では大きな間違いです。

おじいさん・おばあさん・お父さん・お母さん・兄弟たちと一緒に住めば、おじいさん・おばあさんからは歴史が、両親からは生活の知恵が伝わり、兄弟たちからは人間関係が自然と身につきます。

また、人生経験の長いおじいさん・おばあさんからの昔話やちよつとした世間話から地域の文化や歴史を知ることができ。年寄りと一緒に住むことで礼儀を学び「日本の心」を伝える大きな収穫があるのです。

歴史を全部捨てて、現在の知識だけでやるから、間違った方向に進んでしまつた。長い歴史と文化を切り捨ててしまつた為、すべての命「日本の心」が伝わらなくなつたのです。

■最近、親子間の殺人事件や、有名ブランド商品の偽造事件等、目に余る事件が頻発しておりますが、これらの問題は防犯の問題というよりも日本人が大切にしてきた「日本の心」が失われつつあるということでは、と考えます。

その一例は師が弟子を叱る、親が子を叱る、年配者が若者を叱ることです。昔はこれらはごく日常で見られる光景でした。しかし現在、信念をもつて叱っている先輩たちがいるでしょうか。ほとんど見られなくなりました。

小言を聞く若者の大半は有難く思うことはありません。反発する人の方が多いのが普通です。その為に叱らなくなるのです。それでも昔の人は叱り続けます。師は弟子に小言を言い続ける。「それはどうしてだろう」と考えたことはありません。

すか。やはりそこには親や師の深い愛情と正しいことを伝えようとする強い信念があったからです。親や師が自分の経験から正しいと思つたことや、大切な人の道を教えなければ誰が教えるのですか。反発されても、嫌われても叱り続けるべきなのです。この大切な心の継承は、親がいなくなり師がいなくなった時に分かるのです。

自分が成長して叱る立場になったとき初めて親や師の有難さに気がつくのです。次の世代に対して繰り返し教育をする義務があるのだと考えるべきです。

今日、若者や子供を叱ることをしなければ「日本の心」は失われてしまいます。いまわしい事件の数々は若年層に対する間違つた教育に端を発していると考えます。信念を持つて若者や子供を叱り続ける勇氣を持つべきです。

曲谷 健一

大正十三年十二月十八日生まれ



八幡神社責任役員・東京都神社総代会副会長・愛宕四之部地区防災連合会長・虎ノ門五丁目八幡町会会長。

八幡神社宮元に生まれ育ち、永年に亘り近隣社会の発展に尽力されている。

# 寅年の出来事



## 平成十年（一九九八）

郵便番号7桁化

長野オリンピック開幕

キトラ古墳で白虎図や東アジア最古の天文図を発見

和歌山毒物カレー事件

夏の甲子園決勝戦で松坂大輔がノーヒットノーラン

映画監督の黒澤明が死去

## 昭和六十一年（一九八六）

スペースシャトル、チャレンジャー号爆発事故

比マルコス大統領が国外脱出、アキノ大統領誕生

港区にアークヒルズが完成

英チャールズ皇太子とダイアナ妃が来日

土井たか子为主要政党で日本初の女性党首に

伊豆大島の三原山が噴火

ビートたけし講談社襲撃事件

## この年生まれた著名人

浅尾美和（ビーチバレー）・柳原可奈子（芸人）

諸見里しのぶ（ゴルフ）・興梠慎三（サッカー）

## 昭和四十九年（一九七四）

小野田寛郎陸軍少尉、ビルバング島から帰還

東京国立博物館でモナ・リザ展開催

ウォーターゲート事件

三菱重工爆破事件

原子力船むつが放射線もれ事故

中日が巨人のV10を阻止しセ・リーグ優勝

巨人、長嶋茂雄が引退

田中角栄首相辞任。三木武夫内閣発足

## この年生まれた著名人

清水宏保（スピードスケート）・後藤久美子（女優）

千原ジュニア（芸人）・草薙剛（タレント）

国分太一（タレント）

## 昭和三十七年（一九六二）

第45代横綱・若乃花（初代）が引退を表明

戦後初の国産旅客機YS-11が完成

米女優マリリン・モンローが死去

ビートルズレコードデビュー

キューバ危機

## この年生まれた著名人

石原良純（俳優）・IKKO（メークアップアーティスト）

岡村孝子（シンガーソングライター）

布袋寅泰（ミュージシャン）・柳沢慎吾（タレント）

木梨憲武（タレント）・藤井フミヤ（ミュージシャン）

俵万智（歌手）

## 昭和二十五年（一九五〇）

山本富士子が第一回ミス日本に選ばれる

警視庁がパトロールカー導入

朝鮮戦争勃発

金閣寺、放火により焼失

警察予備隊（現自衛隊）が発足

この年生まれた著名人

山本譲二（歌手）・三遊亭楽太郎（落語家）

志村けん（コメディアン）・館ひろし（俳優）

和田アキ子（歌手）・東尾修（元プロ野球選手）

八代亜紀（歌手）・由美かおる（女優）

## 昭和十三年（一九三八）

ナチス・ドイツ、オーストリアを併合

ドイツでユダヤ人迫害開始

この年生まれた著名人

石ノ森章太郎（漫画家）・松本零士（漫画家）

梅宮辰夫（俳優）・島倉千代子（歌手）

## 大正十五年・昭和元年（一九二六）

日本放送協会設立

明治神宮外苑竣工奉獻式

トヨタ自動車の母体となる豊田自動織機製作所設立

大正天皇崩御

この年生まれた著名人

森英恵（デザイナー）・榊莫山（書道家）

菅井きん（女優）・渡邊恒雄（読売新聞本社会長）

マリリン・モンロー（女優）

## 大正三年（一九一四）

シーメンス事件

第一次大戦勃発

パナマ運河開通式

東京駅開業

## 明治三十五年（一九〇二）

八甲田雪中行軍遭難事件

通信省が初めて官製絵はがきを発売

早稲田大学開校式

# 初夢



皆さんはもう初夢を見たでしょうか。どんな初夢を見るかを気にしている人は多いと思います。

今では一般的に一月一日の元日から三日の間に見た夢を言うことが多いようですが、古くは立春から新年の始まりと考えており、『年暮れぬ春来べし』とは思ひ寝にまさしく見えてかなふ初夢』という西行法師の歌に見られるように、節分から立春にかけて見た夢を初夢といっていたようです。

室町時代には『長き夜の遠の眠り』の目覚め波乗り船の音の良きかな』という回文の歌を七福神の宝船の絵に書いて、枕の下に入れて眠ると良い夢が見られるという風習もあつたようです。もしこれでも悪い夢を見た時には絵を川に流して厄払

いしたようです。

『二富士、二鷹、三茄子』、江戸時代の初めから初夢に見ると縁起が良いものとされています。この起源については徳川家康のお膝元駿河の名物をいったものであるなど諸説あるようですが、富士は「無事」、鷹は「高い」、なすは「事を成す」という語呂合わせと考えるのが一番わかりやすいかもしれません。

何より皆さんが良い初夢を見て、平成二十二年がすばらしい年となることをお祈りしております。

## 年中行事

- 二月三日 節分祭
- 二月十七日 祈年祭
- 六月三十日 夏越の大祓
- 八月十三日 前日祭
- 八月十四日 中日祭
- 八月十五日 大祭式
- 十一月二十三日 新嘗祭
- 十二月三十一日 年越の大祓

## 平成 22 年の厄年

|       | 前厄                   | 本厄                  | 後厄                  |
|-------|----------------------|---------------------|---------------------|
| 男性の厄年 | 24才<br>昭和62年生<br>うさぎ | 25才<br>昭和61年生<br>とら | 26才<br>昭和60年生<br>うし |
|       | 41才<br>昭和45年生<br>いぬ  | 42才<br>昭和44年生<br>とり | 43才<br>昭和43年生<br>さる |
|       | 60才<br>昭和26年生<br>うさぎ | 61才<br>昭和25年生<br>とら | 62才<br>昭和24年生<br>うし |
| 女性の厄年 | 18才<br>平成5年生<br>とり   | 19才<br>平成4年生<br>さる  | 20才<br>平成3年生<br>ひつじ |
|       | 32才<br>昭和54年生<br>ひつじ | 33才<br>昭和53年生<br>うま | 34才<br>昭和52年生<br>へび |
|       | 36才<br>昭和50年生<br>うさぎ | 37才<br>昭和49年生<br>とら | 38才<br>昭和48年生<br>うし |

年齢は数え年です

平成 22 年 1 月 1 日発行

発行者 八幡神社

東京都港区虎ノ門 5-10-14

03-3436-2765

http://www.hachimanjinja.or.jp